

(竜王西小) 学校 学校関係者評価書

令和2年 1月31日(金)

(竜王西小学校) 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：令和2年 1月29日(水) 午後 3時～

会場：竜王西小学校会議室

参加者：(学校関係者評価委員)

学校評議員 高相治夫 植松章子 功刀妙子

保護者代表 清水若菜

(学校側)

校長 奥水政仁 教頭 丹沢貴浩

I 学校側から提案された内容

- ・教職員自己評価結果と考察
- ・児童アンケート結果と考察
- ・保護者アンケート結果と考察
- ・創甲斐教育の数値目標についての結果と考察
- ・課題改善に向けた今後の取組

II 協議された主な内容

- ・不登校児童・いじめの解消率について(チーム竜西小の成果)
- ・学校教育目標・学校経営について(教職員の意思統一)
- ・学習指導, 生活指導について(教職員の意識)
- ・学校, 家庭, 地域の連携について(学校・家庭・地域の関わり)
- ・朝食・睡眠時間について(家庭生活)
- ・「ありがとう」について(感謝を伝える大切さ)
- ・保護者の教育に対する考え方について(保護者の意識)
- ・創甲斐教育について(数値目標)

<学校関係者評価書>

I 全体評価

- 教職員自己アンケートから, 学校教育目標の具現化に向けて, やるべき教育活動を, まじめに一生懸命に, 「チーム竜王西小」として行っている。
- 児童アンケート・保護者アンケートから肯定的な回答が多く, 多くの児童は楽しく充実した学校生活を送っている。主体的に行動することや感謝を伝えること, 規則正しい生活をするを大切に生活している様子がわかる。また, 少数回答ではあるが「相談できる友だち」「睡眠時間」「朝食」「読書」は, 継続した指導が必要である。

II 特徴

- 不登校児童の割合は0%である。いじめ解消率100%である。また, インフルエンザの罹患者も現時点で0人である。教職員や保護者・地域での日頃からのきめ細かな指導や生活習慣(朝食や睡眠等)の改善されてきている結果だと評価できる。
- 「先生はよく勉強を教えてくれる」の「Aとてもそう思う」の回答が, 教職員・児童と保護者の結果に大きな開きがある。これは, よくわからないから保護者がB回答をしたと思われる。今後は, 教職員の指導の様子を, 保護者へもっと伝えていくことで, 信頼関係を築いていきたい。
- 学校教育目標・学校経営について(教職員の意思統一)

- ・データを見ると、西小の中で教育活動の方向性が一本化され、校長先生の考えが全職員へ浸透していることがわかる。

今後の課題として意識されたいこと

○学習指導、生活指導について（教職員の意識）

- ・先生と子どもとの関係が良好なことがよくわかる。また、先生方がよくほめて指導をしている。今後もこの方向で指導をしてほしい。
- ・先生に反発する子どももいる。学年が変わって、先生が替わって、子ども達が先生に慣れていないこともある。
- ・保護者の肯定的な回答の中には、よくわからないからB回答をした人も多い。

○学校、家庭、地域の連携について（学校・家庭・地域の関わり）

- ・教育の根源は「感化」の心、「人は人によって人になる」のだから、まず保護者がつくるという自覚を持ちたい。
- ・教職員の在職の期間をもっと長くしてほしい。特に、校長先生には長くいて頂いて、校長先生の人格をベースとした教育をしてもらい、よい伝統を作って欲しい。
- ・異動は、どうにもならないことなので、学校評議員やPTAが、新しい教職員へ西小の良い伝統を伝えていくことが大事になる。また、PTAがよい伝統を作っていく意識をもつことも大切である。
- ・教職員と保護者が、もっと意見を言い合って意思疎通をもっと図っていくことが大切である。

○朝食・睡眠時間について（家庭生活）

- ・家族（親や兄弟）の時間が不規則である。仕事の関係で夕食の時間が遅くなったり、兄姉の塾の関係で遅くなったり、ゲームを遅くまでやっていたり、朝起きられなかったり、朝食を食べる時間がなかったり、保護者が朝食の準備が出来なかったり、と様々なご家庭がある。まじめに頑張っている保護者は、頑張りすぎないように、やっていない保護者は、しっかりやっていくように、様々な機会話題にしていきたい。

○「ありがとう」について（感謝を伝える大切さ）

- ・「ありがとう」を言うことは、難しいことではなく誰にでもすぐできること。多くの子ども達が心がけている。
- ・大切な指導である。大人も子どもも「ありがとう」を積極的に使いたい。今後も指導の継続をしてほしい。

○保護者の教育に対する考え方について（保護者の意識）

- ・保護者が、学校に頼りすぎの面がある。もっと主体的に真剣に教育に関わっていないといけない。
- ・卒業生は、西小が好き、学校を休みたくない。先生との信頼関係もよく、子ども達同士もケンカもするけどすぐ仲直りできる子ども達だった。今の在校生もそのような関係を作って欲しい。

○創甲斐教育について（数値目標）

- ・7項目が数%下回ったが、3項目が上回った。数字だけを上げるために取り組むことは危険だが、上手く数値目標を活用して、よい教育活動をしてほしい。特に、不登校といじめ解消率は素晴らしい。うれしい。

- 子ども達は、学校・家庭・地域にとってかけがえのない宝であると共に甲斐市を背負っていく人材でもある。学習の習慣化・読書の習慣化を含めた子ども達の『望ましい基本的生活習慣』の確立のために家庭・地域の支援をいただく中で、『自ら学び、自ら考え、進んで行動する、心豊かでたくましい児童』の育成をめざした教育活動に「チーム竜王西小」として取り組む。

※特記事項 特になし

記載責任者（竜王西小学校 学校関係者評価委員） 氏名： 清水 若菜 印